

2017.1.5 市長 新春記者会見 資料

【新年の姿勢】

- ・まちづくりを加速して進めていく。桑名市にとって、飛躍の年としたい。

【去年は】

- *市のブランド力を高めることができた。市の歴史に残る年になった。
 - ・ジュニアサミットを成功裡に終えた。
 - ・桑名石取祭がユネスコ無形文化遺産に登録された。
- *長年懸案の施策を着実に前進させることができた。
 - ・桑名市総合医療センターの新病院整備、伊勢大橋架け替え工事など。

【2期目スタートの年】

- *「11の重点プロジェクト」スタート。スピード感を持って進める。
 - ・来年4月の総合医療センターの新病院開院に向けて準備を進める。
 - ・観光や生活の拠点としての桑名駅周辺整備をスピードアップする。
 - ・防災行政無線や命山の整備など、防災体制を強化。庁内組織体制も強化。
 - ・市民主役のまちづくり推進のため、地域コミュニティづくりに力を入れる。
 - ・将来の投資に備えるため、行財政改革をしっかりと続けていく。
 - ・縦割り行政の弊害をなくし、市民サービスの向上を図る。

- *厳しい財政状況の中、課題を解決しながら、総合計画に基づき事業を進めていくため、公民連携の推進など市の財政負担を減らしつつ市民サービスを維持し、将来への展望を拓いていく。

- *市民に「桑名が変わった」と実感してもらえるよう、スピード感を持って事業を進め、新たな結果をしっかりと積み上げ、桑名のさまざまな魅力を磨き「選ばれるまち」になることを目指す。

【新年度予算編成に向けて】

- ・本市の財政上の課題である高い経常収支比率、不足気味の基金残高については、いずれも一定の回復が見られている。とはいえ、まだまだ十分な状況とは言い難いため、引き続き財政健全化に向けた取り組みを継続していく必要がある。
- ・その一方で、「まちの魅力」をアップするために必要な投資を行わなければ、衰退をしていくことになるので、必要な投資をするための予算を確保する。
- ・必要な投資をするためにも、更に行財政改革を進める。縦割りの組織の中で重複したサービスとなっている事業や他市町から見て過剰となっているサービスについても、身の丈に合った制度に変えていく。
- ・平成29年度予算編成は、メリハリをつけ、市の直面する課題に対応できる予算とする。
- ・これからの財政運営には、職員ひとり一人の意識改革が必要である。風通しを良くし、チーム力を最大限発揮できる組織を管理職が中心となって作り上げていく。